

バリアレス縁石の導入によるバリアフリーバス停留所の整備

■ バリアレス縁石とは

- ・側面を特殊な形状にすることで、タイヤが縁石に接触しても衝撃がほとんどなく、**バス停にバスを近づけること（正着）**ができる縁石。
- ・縁石の一部に凹凸を設け、車両が縁石に接近すると微振動により運転手が感知できる構造。
- ・小型ノンステップバス車両に対応した国産縁石としては、全国で初の取り組み。



施工前



平均離隔50Ccm

施工後



平均離隔10Ccm

■ 実証実験の経緯

- ・ H27年度 バリアフリー縁石実証実験（外国産）
実施主体：（公財）日本交通計画協会
実験趣旨：車両と縁石のマッチング
実験場所：新潟交通(株)南部営業所敷地内
- ・ H28年度 バリアレス縁石実証実験（小型ノンステップバス対応：国産）
実施主体：新潟市 受託者：（公社）日本交通計画協会
実験趣旨：実運用による正着性・安全性・乗降性の検証、モニター検証
実験場所：**構内道路（秋葉区役所内）**
バリアレス縁石設置延長：L=16m
- ・ H29年度 バリアレス縁石実証実験（小型ノンステップバス対応：国産）
実施主体：新潟市 受託者：（公社）日本交通計画協会
実験趣旨：切込み型バスベイとバリアレス縁石の正着・安全性の検証
バリアレス縁石とタイヤの摩耗性の検証
実験場所：**市道（新潟程島線）**
バリアレス縁石設置延長：L=16m×2ヶ所（切込み型バスベイ2ヶ所）

29年9月1日～ 公道での供用開始

■ 実証実験の状況



バス正着状況
(H28構内道路)



バス正着状況
(H29市道)



バス正着時降車状況